

講義名	高齢者福祉論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	渡邊 健		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 1時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

本授業の目的は、わが国の高齢者福祉の理念と実際について基本的な知識を習得するとともに、その意義及び課題について理解する。

到達目標

本講義では、現代社会における高齢者の位置づけや課題、高齢者福祉の理念・歴史・法制度体系、高齢者福祉における援助の方法、について基礎的知識を習得して現状の問題点を考察して論じることのできる基礎的視点を身につける。

提出課題

適宜、授業のなかで提示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

提示した課題に対する小レポートについてコメントを行う。

評価の基準

中間および期末に課すレポート、対面でない授業期間中のレポート、授業で適宜提示する課題に対する小レポート、および講義への参加姿勢により評価する。

履修にあたっての注意・助言他

授業で配布する資料は、学習目標を達成するために重要なキーワードを提示するものであり、保管しておくこと。「評価の基準」の講義への参加姿勢は減点法で行うが、その内容は私語、携帯電話の着信音、メールの操作等を含む。

教科書

新・社会福祉士養成講座<13>「高齢者に対する支援と介護保険制度」 社会福祉士養成講座編集委員会 中央法規
2019年。

プリント資料及び参考文献

適宜、授業のなかで配布、紹介する。

授業計画

1. 高齢者の社会的特性
2. 高齢者の生活実態と社会情勢
3. 高齢者福祉制度の発展過程
4. 高齢者福祉制度の発展過程
5. 介護の概念や対象
6. 介護保険制度
7. 介護保険制度
8. 介護保険制度
9. 地域包括支援センターの役割と実際
10. 介護予防とケアマネジメント
11. 高齢者虐待の防止
12. 認知症ケア
13. 終末期ケア
14. 高齢者における相談援助
15. 高齢社会における権利擁護

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業の終了時に次回のテーマを述べるので、各自が書籍・インターネット等で関連する事柄を調べて考察しておくこと。
授業の最初に前回授業に係る小テストを実施することがあるので、復習しておくこと。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考